第109回
定時株主総会

2020年3月30日

すべての革新は患者さんのために

中外製薬株式会社

ロシュ グループ

重要な注意事項

将来見通し

本プレゼンテーションには、中外製薬の事業及び展望に関する将来見通しが含まれていますが、 いずれも、既存の情報や様々な動向についての中外製薬による現時点での分析を反映しています。 実際の業績は、事業に及ぼすリスクや不確定な事柄により現在の見通しと異なることもあります。

Core実績

当社はIFRS移行を機に2013年よりCore実績を開示しております。Core実績とはIFRS実績に当社が非経常事項と捉える事項の調整を行ったものであり、ロシュが開示するCore実績の概念とも整合しております。当社ではCore実績を、社内の業績管理、社内外への経常的な収益性の推移の説明、 並びに株主還元をはじめとする成果配分を行う際の指標として使用しております。

2020年度の目標と重点方針
IBI 21　中期経営計画期間の成長見通し

すべての革新は患者さんのために

中外製薬株式会社

ロシュ グループ

中外製薬株式会社
代表取締役社長CEO　小坂 達朗

2020年度 経営方針

▪ IBI 21の完遂に向けて、以下の点に注力

集　中	強　化
・成長ドライバーの価値最大化 ・次世代の成長機会創出	・中長期の持続的成長を見据えた事業基盤構築

IBI 21の完遂

経営環境と当社の事業機会・リスク

メガトレンド	機会／リスク
ライフサイエンス・デジタル技術の飛躍的進化	細胞／遺伝子治療、核酸医薬品等の進展 デジタル技術の進化と実社会での利用浸透
人口動態変動に起因する財政圧力	医薬品事業環境の変化
地球環境・社会システムなどの持続危機	持続可能な医療・社会実現要請の高まり

2020年 4つの重点方針

2020年重点方針

1 成長ドライバーの価値最大化

2 次世代成長機会の連続創出

3 個別化医療高度化・デジタル活用基盤の構築

4 抜本的な構造改革実行・Sustainable基盤強化

2020年 4つの重点方針

1 成長ドライバーの価値最大化

- ヘムライブラ　：さらなる市場浸透
- テセントリク　：適応追加によるシェア拡大
- サトラリズマブ　：承認取得、早期市場浸透

2020年 4つの重点方針

2 次世代成長機会の連続創出

- 中分子プロジェクト　:P1開始に向けた準備
- 抗体プロジェクト　:スイッチ抗体P1開始
- ネモリズマブ　:国内申請(AD)、海外P3開始(PN)
- Crovalimab/SKY59　:グローバルP3(PNH)開始

ネモリズマブ:アトピー性皮膚炎(AD)はマルホ社が実施、結節性痒疹(PN)はガルデルマ社が海外で実施
PNH:発作性夜間ヘモグロビン尿症

2020年 4つの重点方針

3 個別化医療高度化・デジタル活用基盤の構築

- FoundationOne Liquid申請
- AI創薬の推進とデジタル人財の獲得・育成
- 外部パートナーとのコラボ加速

2020年 4つの重点方針

4 抜本的な構造改革実行・Sustainable基盤強化

- 新人事制度の導入・運用徹底
- ESG評価のさらなる向上

IBI 21を牽引する成長因子

- 収益構造　：国内売上を収益源、自社創製品の海外展開を成長源とする構造は不変
- リスク因子：厳しい国内環境は、自社品のグローバルでの成長でカバー

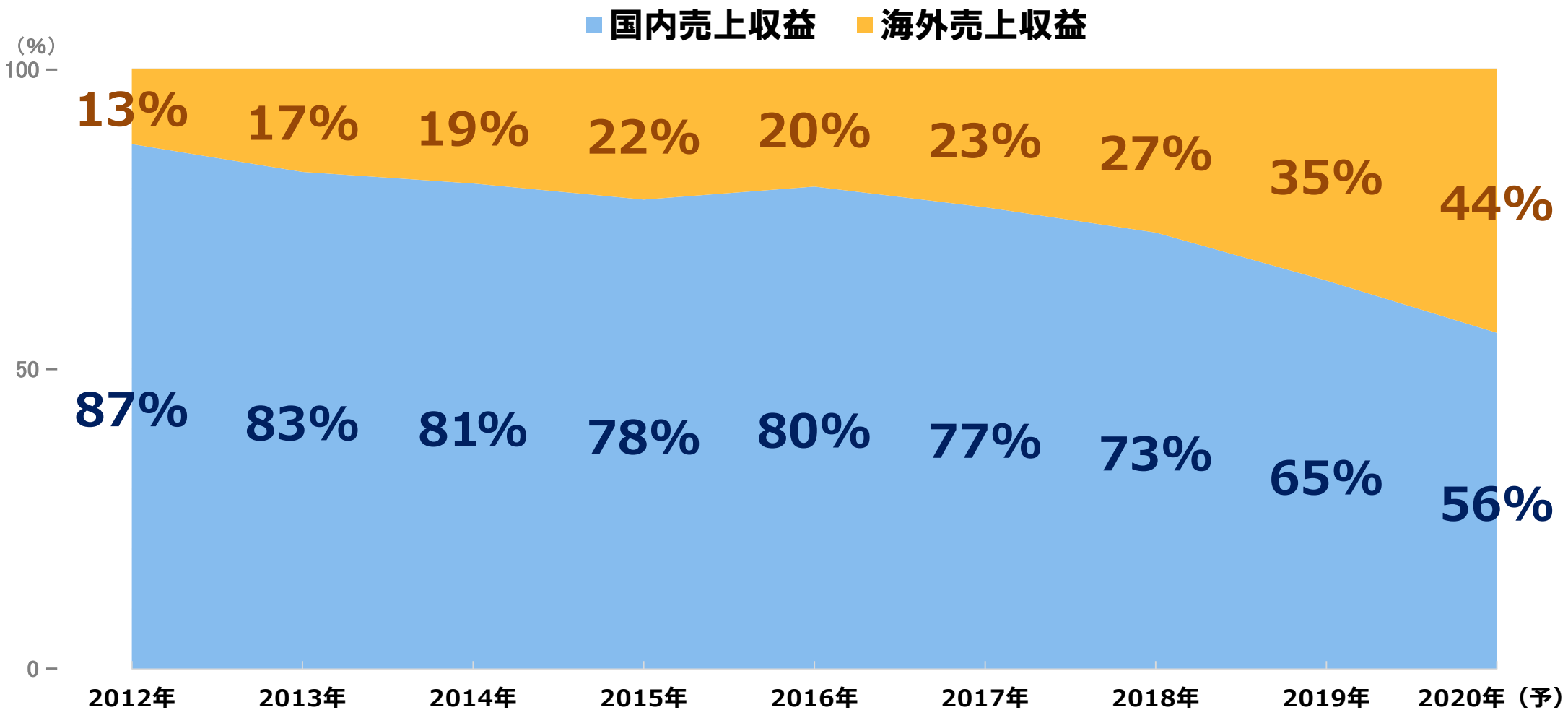
リスク因子

- バイオシミラー
- ジェネリック
- 薬価抑制策
- 環境変化
- 新たなモダリティー　等

成長因子

- 革新的自社グローバル品の連続創出
- 自社品のグローバル売上拡大
- 新製品の国内市場浸透加速
- 国内外既存品の適応拡大
- 研究・生産機能強化
- 将来成長を支える基盤構築　等

国内外の収益構造の推移（構成比）



2020年度の見通し

（億円）	2019年 1－12月実績	2020年 1－12月予想	対前同
売上収益	**6,862**	**7,400**	**+7.8%**
製商品売上高	5,889	5,800	△1.5%
国内	4,376	4,116	△5.9%
海外	1,513	1,684	+11.3%
ロイヤルティ等収入及び その他の営業収入（ROOI）	973	1,600	+64.4%
営業利益（Core）	**2,249**	**2,750**	**+22.3%**
Core EPS（円）	**305.80**	**122.00** *366.00	**—** +19.7%

＊2020年7月1日を効力発生日として、普通株式を1株につき3株の割合で株式分割を行う。株式分割を考慮しない場合の数値を記載。

IBI 21 計量目標（見直し）

Core EPS CAGR * （2018－2021）	30％前後 **

* CAGR：年平均成長率（％）

** 3年間、一定為替レートベース

※Core EPS CAGRは、2020年7月1日を効力発生日として予定している株式分割を考慮しない場合で算出

今年度の配当予想

今年度の配当予想
（株式分割を考慮しない場合）

1株当たり年間150円
うち中間配当金75円（予想値）

ご参考

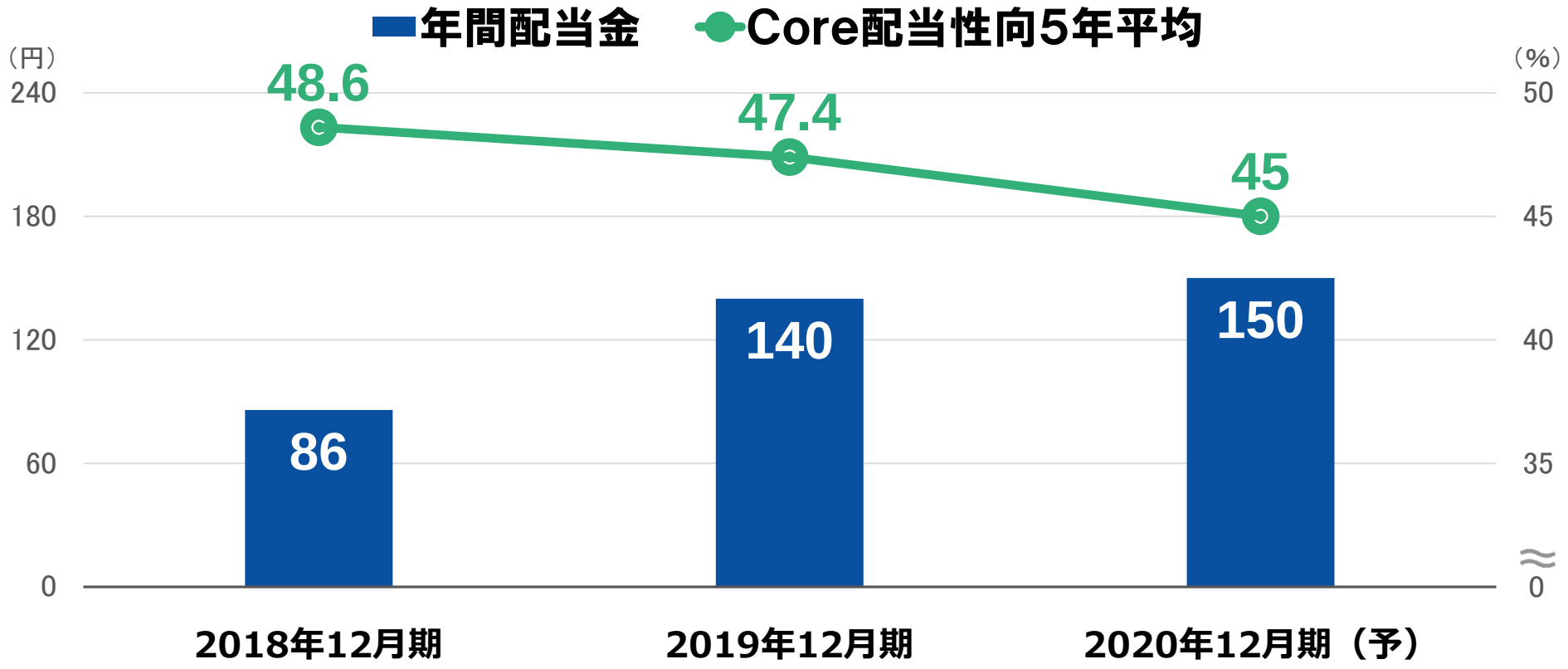
2019年度の配当
（本総会第1号議案の
承認可決を前提）

1株当たり年間140円
うち中間配当金48円

配当方針の変更について

新たな方針

Core EPS対比平均して、45％の配当性向を目処に、安定的な配当を行うことを目標とする



まとめ

- 2019年は、3年連続で売上・営業利益ともに過去最高を達成
- IBI 21の各戦略は計画とおりの進捗
- 2020年も増収・増益を想定しており、さらなる成長を見据えた事業／先行投資にも着手

中期経営計画達成に向けて、初年度は順調なスタート

IBI 21完遂に向け、2020年は中長期の持続的成長を見据えた事業基盤を構築・強化する一年とする。